

# 2011年春闘・闘争宣言

いよいよ2011年春闘本番に突入した。2011年春闘は「春闘再生元年」である。いままでとは違った意気込みで、産業別統一闘争と職場からの団結を強め、「春闘再生」にふさわしいたたかいを展開する。

10数年来の賃上げ抑制に加え、残業代・一時金の減少などによって年収は大きく減っており、「くらしを立てなおしたい」という切実な思いがひろがっている。また、労働者の雇用が安定し生活が改善されれば、消費の冷え込みと価格破壊、中小企業の経営困難の悪循環を断ち切り、日本経済を立てなおすことができる。JMIUは、「すべての仲間の賃上げと雇用でくらしと経済をたてなおそう」のスローガンをかけ、2011年春闘を意気高くたたかう。

「賃上げ」を実現させる力は職場からの団結の力と産別・地域、さらには全国的な統一闘争、そして社会的世論である。すべての支部分会が生活を土台にした積極的な要求をかけ、全員発言・全員参加のたたかいを積極的にすすめる。同時に、産別・地域の仲間との連携をつよめ、統一ストライキ・統一行動を展開するとともに、地域春闘の前進をめざす。

組織建設は春闘における要求と労使関係の前進に直結する。こうした立場からJMIUの強化・拡大に全力をあげる。

国民から見放されつつある菅政権は、消費税増税やTPPへの参加、日米同盟の深化などを強力に推進し、かつての自民党政権以上に財界やアメリカに追従している。通常国会では、こうした悪政に反対し、くらし・雇用、経済をたてなおすため、「二方面のたたかい」に全力をあげる。とりわけ、いっせいで地方選挙をつうじて住民の要求をまもる地方政治を実現させ、国政の転換をめざす。

JMIUは、職場・地域から、あらためて、春闘をたたかうことの意義と重要性を語り合い、すべての労働組合が積極的な要求をかける春闘を元気にたたかえるよう激励と相互支援を強める。そして、地域から一致する要求と課題での統一闘争と共同をひろげるために全力をあげることを宣言する。

2011年1月29日

全日本金属情報機器労働組合  
第45回臨時全国大会